DENON

ダイレクトドライブ
マニュアルターンテーブルシステム

DP-A100

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け
●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿などの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施 禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

オーディオ機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

手を挟まないよう注意 指のケガに注意

手や指などを挟まない

ダストカバーを閉じるときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。
特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭では充分ご注意ください。

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

ダストカバーの上にものをのせない

ダストカバーの上にものを置かないでください。ダストカバーの開閉のときにものが落下して、破損またはケガの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

ご使用になる前に …… I
安全上のご注意 …… I
使用上のご注意 …… 1
お手入れについて …… 1
結露（つゆつき）について …… 1
外観仕上げについて …… 1
注油について …… 1
付属品を確認する …… 2
本書について …… 2
本機の特長 …… 2

各部の名前 …… 3

準備 …… 4
組み立てかた …… 4
ターンテーブルを取り付ける …… 4
カウンターウエイトを取り付ける …… 4
カートリッジを取り付ける …… 4
リード線を接続する …… 4
ヘッドシェルを取り付ける …… 5
ダストカバーを取り付ける …… 5
調整のしかた …… 5
インシュレーターの高さを調整する …… 5
トーンアームの高さを調整する …… 5
針圧・アンチスケーティングを調整する …… 6

接続のしかた …… 6

操作のしかた …… 7
電源を入れる …… 7
再生する …… 7
再生を終了する …… 7

故障かな？と思ったら …… 8

保障と修理について …… 9
保守について …… 9
針交換について …… 9
注油についてのご注意 …… 9
保証書について …… 9

主な仕様 …… 10

使用上のご注意

お手入れについて

- キャビネットやダストカバーの汚れは、付属の拭き布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

外観仕上げについて

本機のキャビネットはダークブラウン光沢塗装で仕上げています。細かい傷でも目立つことがありますので、汚れなどを拭き取る際は付属の拭き布または柔らかい布で軽く拭き取ってください。

注油について

本機のモータは、注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。

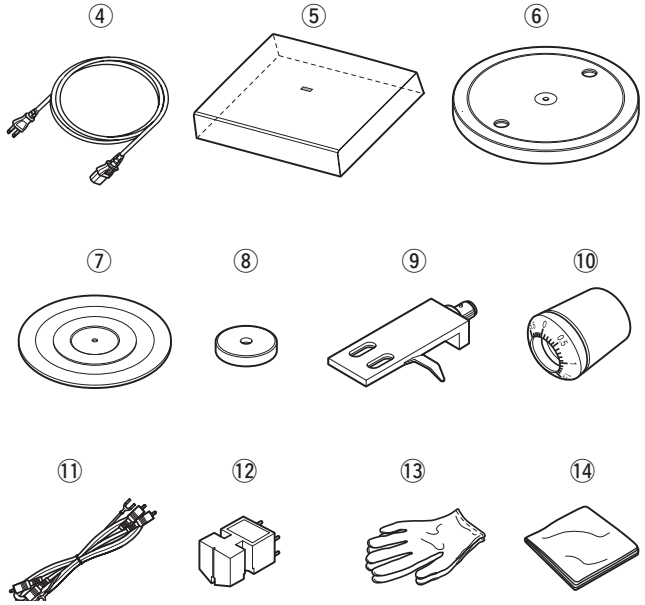
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品を確認する

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書(本書)……1
② 保証書(梱包箱に貼付)……1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内……1
④ 電源コード【本機専用】(長さ:約1.9m)……1
⑤ ダストカバー……1
⑥ ターンテーブル……1
⑦ ターンテーブルシート……1
⑧ 45回転レコード用アダプター……1
⑨ ヘッドシェル
(リード線、ネジ、ナット、ナイロンワッシャー、カートリッジスペーサー 付属)……1
⑩ カウンターウエイト……1
⑪ オーディオケーブル(長さ:約1.6m)……1
⑫ ステレオMCカートリッジ(DL-A100)
(データーシート、針カバー、針先清掃用ブラシ 付属)…1
⑬ 手袋……1
⑭ 拭き布……1



本書について

❏マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

❏イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

本機の特長

ダークブラウン光沢塗装による天然木仕上げキャビネット
プレーヤーのキャビネットには、天然木による突板を使用し、漆のように重ね塗りを施すことで艶やかで深みのある美しいキャビネットに仕上げています。

ステレオ MC カートリッジ DL-A100 付属
放送局で長期間にわたって採用されてきた DL-103 開発時のエンジニア・リファレンスモデルを再現し、さらに最新チューニングを施したステレオカートリッジ DL-A100 を付属しています。

安定した回転を実現するハイブリッド二重構造大型ターンテーブル
直径 331mm の大型アルミダイカストターンテーブルを採用。裏面全体にシリコンラバーでデッドニング処理を施し、耐ハウリング特性を高めています。

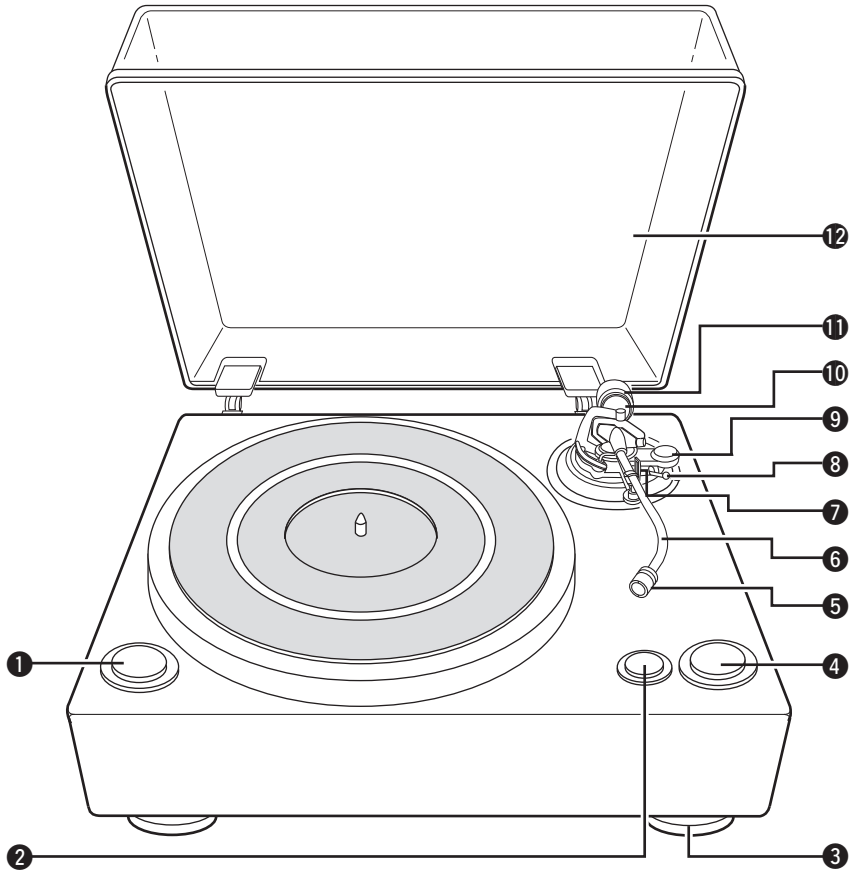
安定した回転を支えるクォーツロックサーボとダイレクトドライブ方式
モーターの内部に設けられたスリットを通過する光パルスの間隔を検出して回転数を制御するクォーツロックサーボを採用しています。ワウフラッターの少ない安定した回転を実現しています。

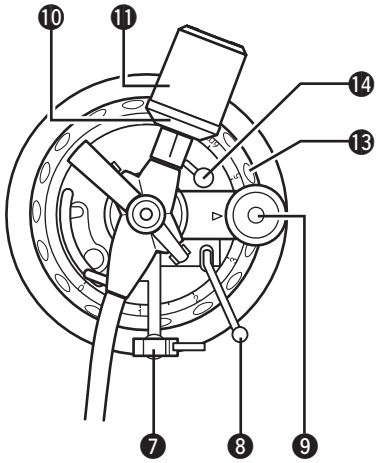
ユニバーサルタイプのトーンアームとアルミ削り出しヘッドシェル
6mm の範囲で高さ調節が可能な大型アルミダイカストベースに載せられたトーンアームは、滑らかな動きで正確なトレースを実現します。
また、トーンアームと付属のアルミ削り出しヘッドシェルの組み合わせにより、音質に悪影響を及ぼす不要な共振を抑制することができ、カートリッジの性能を余すことなく発揮します。

大型インシュレーター採用
振動を減衰させる大型インシュレーターを採用しています。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。



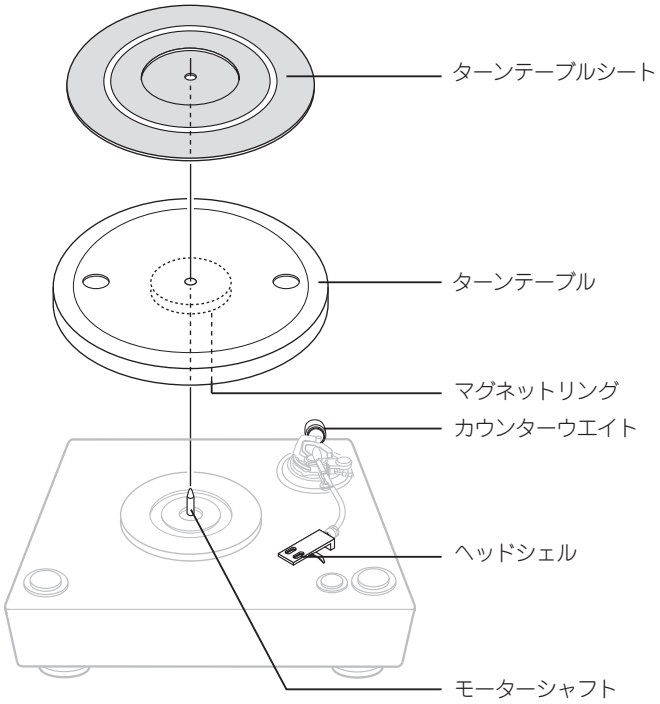


❶ 電源スイッチ(**POWER**) …… (7)
❷ スピード切り替えボタン(**SPEED**) …… (7)
❸ インシュレーター …… (5)
❹ スタート/ストップボタン (**START/STOP**) …… (7)
❺ ロックナット …… (5)
❻ トーンアーム …… (5)
❼ アームレスト …… (5)
❽ リフターレバー …… (6、7)
❾ アンチスケーティングつまみ (**ANTI-SKATING**) …… (6)
❿ 針圧調整リング …… (6)
⓫ カウンターウエイト …… (6)
⓬ ダストカバー …… (5)
⓭ アーム高さ調整リング …… (5)
⓮ アーム高さ固定つまみ …… (5)

準備

組み立てかた

お使いになる前に、付属品の各部品を本機に取り付けてください。
組み立ては、本機の電源をオフにしておこなってください。



ターンテーブルを取り付ける

1 **ターンテーブルをモーターシャフトに差し込む。**

2 **ターンテーブルシートを装着する。**

ご注意

ターンテーブル裏面のマグネットリングに傷を付けないようにご注意ください。

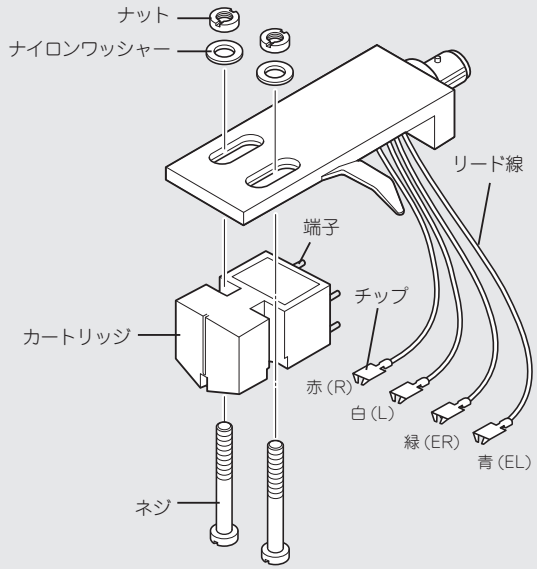
カウンターウエイトを取り付ける

トーンアームの後部の軸にカウンターウエイトを挿入し、ねじ込む。

- 針圧調整リングを前面に向けて取り付けてください。

カートリッジを取り付ける

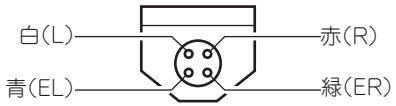
1 **図のようにカートリッジをヘッドシェルに軽く固定する。**



ご注意

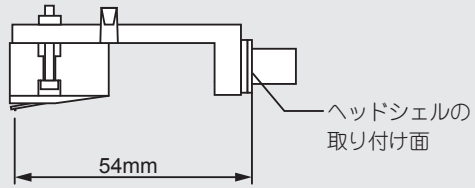
ネジ、ナット、ナイロンワッシャーは付属品をご使用ください。

ヘッドシェル側のリード線がはずれた場合、下図のようにリード線のチップを端子に接続してください。



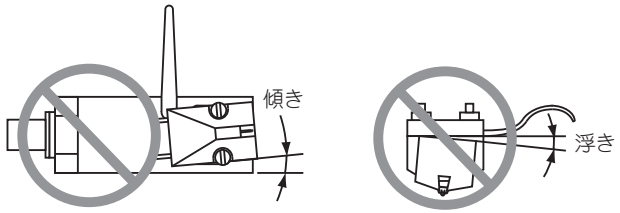
2 **カートリッジの針先がヘッドシェルの取り付け面から 54mm の位置になるようにして、しっかりとネジを締めつける。**

54mm：本機のターンテーブルとトーンアームの位置関係において、針先が左右のチャンネルをバランス良くトレースできる設定値です。（オーバーハング値）



ご注意

カートリッジの針先がレコード盤の溝を正しくトレースするために、カートリッジは傾きや浮きがないように取り付けてください。



リード線を接続する

- カートリッジの端子に、それぞれ次のリード線のチップを接続してください。
- 接続にはお手持ちのピンセットなどをお使いください。

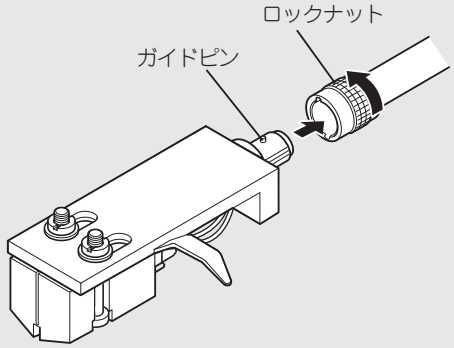
カートリッジの端子名	リード線の色
L（左チャンネル）	白
EL（左チャンネルのアース）	青
R（右チャンネル）	赤
ER（右チャンネルのアース）	緑

ヘッドシェルを取り付ける

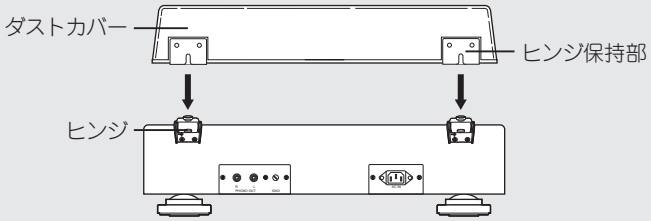
針先保護のため、カートリッジに針カバーを取り付けておこなってください。

1 **下図のようにヘッドシェルのガイドピンを上にして、トーンアームの先端に差し込む。**

2 **ロックナットを矢印の方向に回してヘッドシェルを固定する。**



ダストカバーを取り付ける



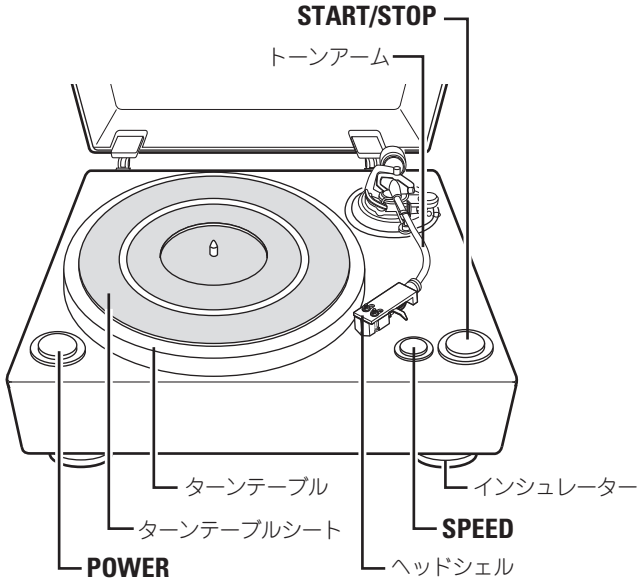
ヒンジにダストカバーのヒンジ保持部を装着する。

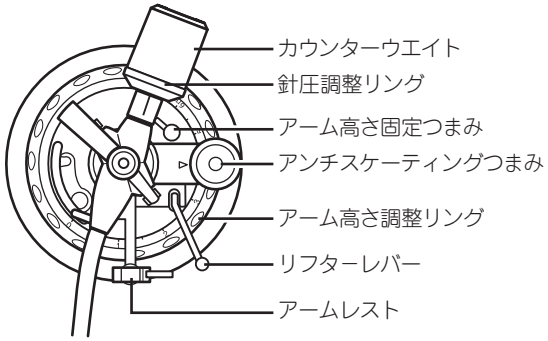
- 矢印の方向に十分押し込んでください。
- ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーを全開にしてから、矢印の反対方向に引き抜いてください。

- ダストカバーの取り付けや取りはずしは、ヒンジ保持部の近くを持っておこなってください。
- ダストカバーの取り付けや取りはずしのときは付属の手袋をお使いください。

調整のしかた

調整は本機の電源をオフにしておこなってください。





インシュレーターの高さを調整する

インシュレーターを回して、ターンテーブル面が水平になるようにそれぞれの高さを調整する。

インシュレーターを時計回りに回すと高くなり、反時計回りに回すと低くなります。

市販の水準器をお使いいただくと、より正確な調整ができます。

トーンアームの高さを調整する

カートリッジの針先がレコード盤の溝を正しくトレースするための調整です。レコード盤に針先を置いたときに、トーンアームがレコード盤に平行になるように調整します。
お使いになるカートリッジやヘッドシェルに合わせて調整してください。

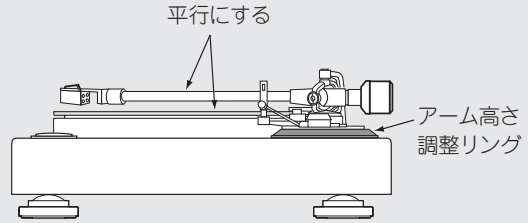
付属のヘッドシェルとカートリッジをお使いの場合は、アーム高さ調整リングの目盛りを“0”に合わせてください。

1 **レコード盤上に針先を置き、レコード面とトーンアームが平行になっているか確認をする。**
平行になっていない場合は、手順 2～5 をおこないます。

2 **トーンアームをアームレストに戻す。**

3 **アーム高さ固定つまみを反時計方向にいっぱいに回す。**
アーム高さ調整リングの固定を解除します。

4 **レコード盤とトーンアームが平行になるように、アーム高さ調整リングを回す。**



5 **アーム高さ固定つまみを時計方向にいっぱいに回す。**
アーム高さ調整リングを固定します。

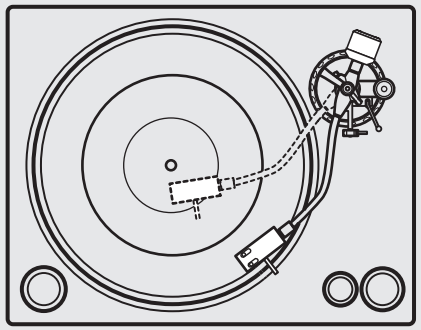
カートリッジによっては、トーンアームの高さを調整してもレコード面とトーンアームが平行にならない場合があります。
このような場合は、付属のカートリッジスペーサーをヘッドシェルとカートリッジの間に挟んで、レコード面とトーンアームが平行になるように調整してください。

針圧・アンチスケーティングを調整する

お使いになるカートリッジの針圧を調整します。また、アンチスケーティングの調整は、再生中に針先に生じるレコード盤の回転による遠心力の影響を打ち消すためのものです。

1 **アンチスケーティングつまみの目盛りを“0”に合わせる。**

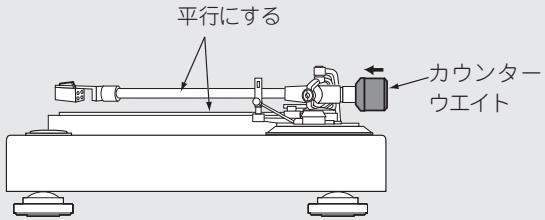
2 **リフターレバーを下げ、トーンアームをターンテーブルの上まで移動させる。**



- 針カバーを取りはずせるカートリッジの場合は、針カバーを取りはずしてください。

3 **ヘッドシェルを持った状態から静かに離したときに、トーンアームとターンテーブルが平行になるように、カウンターウエイトを回して調整する。**

針先保護のため、カウンターウエイトはゆっくり回しながら矢印方向に進めてください。

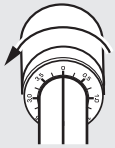


- 重さが軽いまたは重いカートリッジやヘッドシェルをお使いになると、トーンアームを平行にできない場合があります。この場合は当社のオプションのカウンターウエイト（別売り）などをお使いください。詳しくは当社の修理相談窓口、またはお客様相談窓口にご相談ください。

4 **トーンアームをアームレストに戻す。**

5 **カウンターウエイトを動かさないように指でおさえながら、針圧調整リングの“0”表示をトーンアーム後部の黒い線に合わせる。**

6 **カウンターウエイトを矢印の方向に回し、カートリッジの適正針圧値に合わせる。**

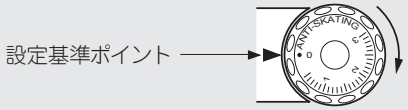


- 付属カートリッジの適正針圧値は、2.5g です。“2.5”の目盛りに合わせてください。
- カートリッジの適正針圧値は、ご使用になるカートリッジの取扱説明書をご覧ください。

7 **アンチスケーティングつまみを回し、カートリッジの針圧と同じ数値に合わせる。**

針圧 3.0g 以上のカートリッジをご使用の場合は、“3”に合わせてください。

適正なアンチスケーティング量が得られます。



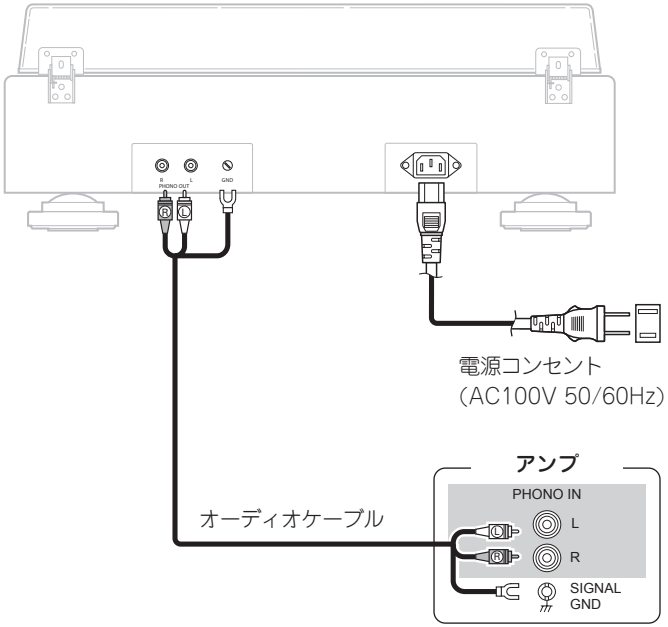
ご注意

針先をターンテーブルシートなどで傷つけないように十分注意してください。

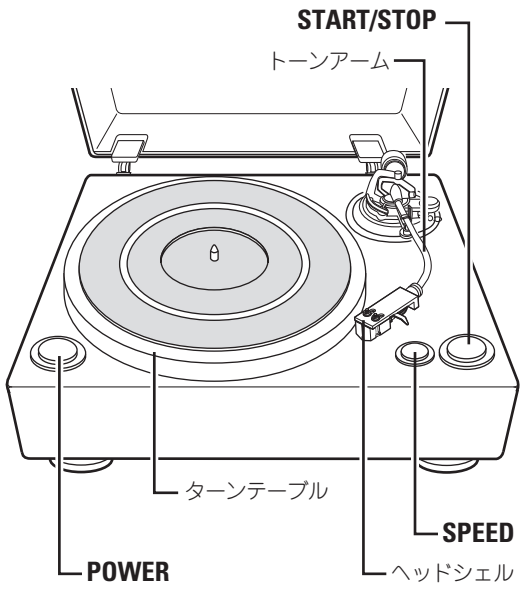
接続のしかた

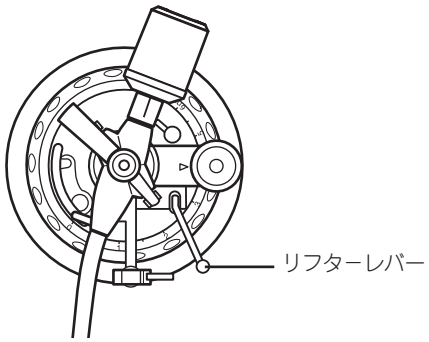
ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとL、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。



操作のしかた





電源を入れる

POWER を押して“▬ON”にする。
SPEED の表面の”33”表示がオレンジ色に点灯します。

長時間使用しないときは、必ず電源コードを抜いてください。

再生する

1 レコード盤をターンテーブルの上に載せる。
- EP レコード（ドーナツ盤）を再生するときは、付属の 45 回転レコード用アダプターを使用してください。

2 SPEED を押してレコード盤の回転数に切り替える。
押すたびに **SPEED** の表面にある”45”表示と”33”表示が交互に点灯します。

- ”45”表示（緑色）：ターンテーブルが 45 回転で回ります。
- ”33”表示（オレンジ色）：ターンテーブルが 33-1/3 回転で回ります。

3 START/STOP を押す。
ターンテーブルが回転をはじめます。

4 リフターレバーを上げてヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームを再生したい曲の開始位置まで移動させる。

5 リフターレバーを下げる。
トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤におりて再生をはじめます。

ご注意
- レコードに傷をつけないようご注意ください。
- 再生中は、次の点にご注意ください。
  - トーンアームやターンテーブルに触れない。
  - 電源を切らない。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
- レコード盤を交換するときは、ターンテーブルが止まってからおこなってください。
- ターンテーブルの回転中にターンテーブルを手でおさえて回転を止めないでください。内部が発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

再生を終了する

1 リフターレバーを静かに上げる。
トーンアームが上昇し、針先がレコード盤から離れます。

2 ヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームをアームレストに戻す。

3 リフターレバーを下げる。

4 トーンアームをアームレストに固定する。

5 START/STOP を押す。
ターンテーブルの回転が止まります。

ご注意
カートリッジの針先保護のため、本機をお使いにならないときは、カートリッジの針カバーを取り付けてください。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか

❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

症　状	原　因	対　策	関連ページ
針先がレコード盤におりない。	• トーンアームの高さが正しく調整されていない。	• 正しく調整してください。	5
	• 針圧が正しく調整されていない。	• 正しく調整してください。	6
	• アームの重量バランスが調整されていない。	• 正しく調整してください。	5, 6
音が出ない。	• カートリッジとヘッドシェルが正しく接続されていない。	• 接続を確認してください。	4
	• オーディオケーブルが正しくアンプに接続されていない。	• 接続を確認してください。	6
	• アンプのつまみ類の調節や切り替えが正しく設定されていない。	• アンプの設定を確認してください。	–
“ブーン”というハム音が出る。	• オーディオケーブルのアース線がアンプに接続されていない。	• 接続を確認してください。	6
	• オーディオケーブルのプラグが正しくアンプに接続されていない。	• 接続を確認してください。	6
	• ヘッドシェルがロックナットでしっかり固定されていない。	• 取り付けを確認してください。	5
音飛びを起こす。 スクラッチノイズが生じる。 歪んだ音が出る。	• 針圧が適性針圧になっていない。	• 正しく調整してください。	6
	• レコード盤が反ったり、傷が付いたりしている。	• レコード盤を確認してください。	–
	• 針またはレコード盤が汚れている。	• 汚れを取ってください。	9
	• 針が磨耗している。	• カートリッジを交換してください。	9
アームが途中で進まない。	• アームが何かに当たっている。	• アームを確認してください。	–
	• レコード盤に傷が付いている。	• レコード盤を確認してください。	–
音が小さい。または音が大きい。	• アンプのカートリッジ設定（MC/MM）が正しく設定されていない。	• アンプの設定をお使いのカートリッジの種類（MC/MM）に合わせてください。	–

保証と修理について

保守について

針交換について

付属カートリッジ DL-A100 は針先交換価格でお取り換えいたします。その場合は、お買い上げ店または最寄りの修理相談窓口にお使いになっていた現品をご持参ください。

❏針の寿命について

針の寿命は約 2000 時間です。使用状態などで変わることがあります。針先が摩耗すると高音が荒く歪んだ再生音になります。レコード盤を傷める原因となりますので、速やかにカートリッジを交換してください。

❏針先の清掃について

針先は非常に繊細に出来ていますので、取り扱いには十分にご注意ください。針先のゴミはカートリッジに付属の柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。

注油についてのご注意

本機のモーターは注油の必要がありません。故障の原因となりますので絶対に注油しないでください。

保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 2 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ ターンテーブル部

駆動方式：	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数：	33-1/3rpm、45rpm
ワウ・フラッター：	0.1％以下　WRMS
起動時間：	0.3 秒以内で規定回転（33rpm 時）
ターンテーブル：	アルミダイカスト　直径：331mm
モーター：	ダイレクトドライブモーター
スピード制御方式：	クォーツ制御
負荷特性：	針圧 80g で 0％
回転数偏差：	± 0.003％以内

❏ トーンアーム部

アーム形式：	スタティックバランス　S 字型パイプアーム
アーム有効長：	244mm
オーバーハング：	14mm
トラッキングエラー：	3° 以内
アーム高さ調整範囲：	約 6mm
針圧可変範囲：	0～4.0g 1 目盛り　0.1g
適合カートリッジ質量：	4～10g
ヘッドシェル質量：	18g（ネジ、ナット、ナイロンワッシャーを含む）
カートリッジスペーサー質量：	0.25g（1 枚）

❏ 総合

電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	10W（電気用品安全法による）
最大外形寸法：	ダストカバーを閉じたとき： 490（幅）× 213（高さ）× 405（奥行き）mm ダストカバーを開いたとき： 490（幅）× 515（高さ）× 465（奥行き）mm
質量：	15.7kg

❏ カートリッジ部 (DL-A100)

発電方式：	ムービングコイル（MC）形
出力電圧：	0.3mV（1kHz 50mm/sec 水平方向）
左右感度差：	1dB 以内（1kHz）
左右分離度：	25dB 以上（1kHz）
電気インピーダンス：	40 Ω ± 20％
コンプライアンス：	5x10-6cm/dyne（100Hz レコード使用）
針先：	0.2mm 角ソリッドダイヤ
針圧：	2.5g ± 0.3g
再生周波数範囲：	20Hz～45kHz
質量：	8.8g
負荷抵抗：	100 Ω以上（トランス使用の場合 40 Ω）
最大外形寸法：	15（幅）x15（高さ）x26.8（奥行き）mm

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- 本機は国内仕様です。
  必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1
D&M ビル 3F

お客様相談センター　　TEL：044-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購 入 店 名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　5411 10574 008D